

令和6年度 こうべオレンジカフェ連絡会を開催しました。

10月7日（月）こうべ市民福祉交流センター3階301教室に、こうべオレンジカフェを運営している19団体（38名）が集まり「連絡会」を実施しました。



- 内容
- ① 認知症施策の最新情報について
 - ② こうべオレンジカフェの現状について
 - ③ カフェ運営の課題解決に向けたグループワーク

- ① 神戸市高齢福祉課より **認知症施策の最新情報** について情報提供をいただきました。
認知症施策をまとめた「**神戸市認知症ケアパス**」にある情報や、専門職を地域に派遣する、「認知症地域支えあい推進事業」の説明をしていただきました。



- ② **こうべオレンジカフェの現状**では、登録40団体の運営状況報告と共に、新規開設6件のオレンジカフェのご紹介をしました。

- ③ **カフェ運営の課題解決に向けたグループワーク**では、5～6のカフェがグループになり、自己紹介でカフェの情報交換をした後、カフェが抱えている**悩みをテーマ**にして、課題解決のアイデア・工夫や解決方法について意見交換をしました。

★テーマはこちら↓

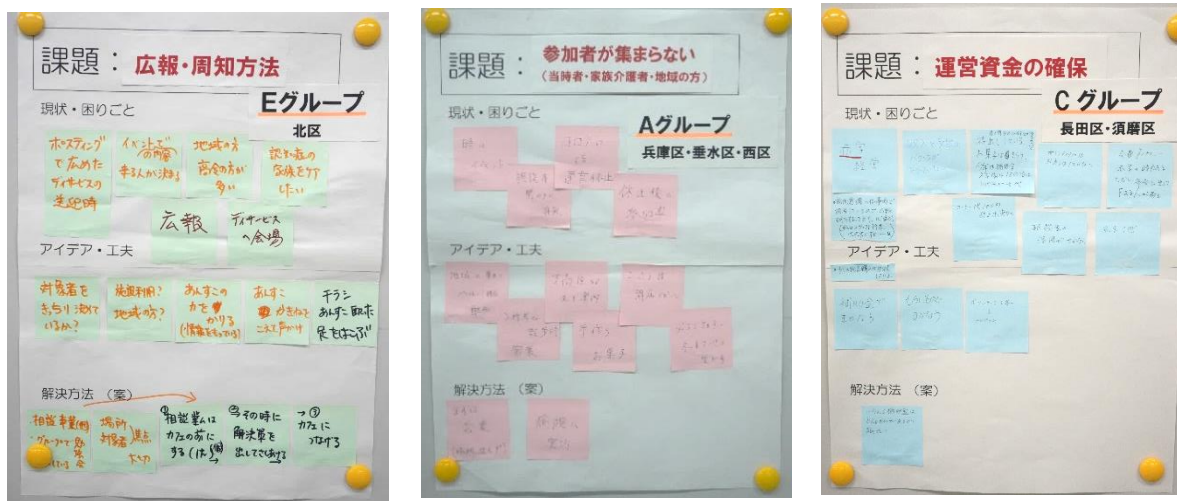
参加者が集まらない	運営資金の確保	広報・周知方法
地域との連携	プログラムや運営内容	運営スタッフ不足



グループワークが始まると、会場が熱気につつまれました。

5グループで意見交換されたテーマは、

広報・周知方法 4件、 **参加者が集まらない** 2件、 **運営資金の確保** 2件、
プログラムや運営内容 1件となりました。



「広報・周知方法」と「参加者が集まらない」のアイデア

- 商店街や地域の集まりで、カフェのパンフレットを配布する。まずは営業！
- 圏域のあんしんすこやかセンターにチラシを持参して広報のお願いをする。
- 参加者の口コミで友達を誘ってきてもらう。
- 行政、あんしんすこやかセンター、区社会福祉協議会と連携して広報する。

「運営費の確保」の現状と困りごと ⇒アイデア：助成金の情報を知りたい

- 100円のコーヒー代をもらっても運営が難しい。
- ボランティアの共済保険代や交通費が捻出できない。
- 賃借料が発生するので運営が困難。無料の会場を貸して欲しい。
- 助成制度があれば持ち出しが少なくなる。

★参加者の皆さまの感想★

※アンケートより一部抜粋

- 多くのカフェの皆さまから情報が得られ交流もできて良かった。
- みんなで話すことで大きな気づきがあった。自分のカフェでも採用したい。
- 広報の仕方や地域とのつながり方、プログラムの内容、進行方法など色々と勉強になりました。
- 同じ志をもってカフェを運営されている方々の課題や意見が聞けて、チームのような感覚を持った。
- 新規立上げに向けて、具体的な方策が聞けた。(立上げ予定2団体の参加もあった)

毎年開催する「こうべオレンジカフェ連絡会」、普段はそれぞれの地域で活動している皆さまが会い、会場は大きなオレンジカフェになりました。神戸のオレンジカフェのありようは様々ですが、地域の居心地の良い場所としてこれからもあり続けますように・・・

